

北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2015.04.No212

4月号

目次

平成27年 定時総会報告	1
道士会の動き	3
日本建築士会連合会委員報告	4
実行委員会報告	6
〔総務・地域貢献活動センター〕	
支部だより	7
〔千歳・士別・釧路〕	
information	8

URL <http://www.h-ab.com/>

平成27年(一社)北海道建築士会定時総会報告

定時総会開催 26年事業報告及び収支決算承認される。

日 時：平成27年3月27日(金) 14時30分～17時00分
会 場：ホテル ポールスター札幌 2F セレナード
(札幌市中央区北4条西7丁目)
出席者：代議員 40名中 32名出席
議 事

事務局より代議員の過半数が出席していることを報告し、総会の開催宣言の後、三日市則昭氏(十勝支部)が議長に選出されました。議事録署名人には内海純一氏(札幌支部)と小幡光男氏(留萌支部)が選出された後、理事者側から第1号及び第2号議案の提案及び説明があり、逐次審議を行った結果、いずれも原案どおり可決されました。



議 案

〔議案第1号〕平成26年一般会計事業報告及び収支決算
〔議案第2号〕平成26年特別一般会計事業報告及び収支決算
議案第1号及び2号の主だった内容は以下のとおり
〔議案第1号〕

◆平成26年一般会計事業報告

『委員会所管事項』

◎ 総務委員会

- ・組織運営の適正化に係る対応
- ・関係機関との意見交換会等の実施
- ・建築関係団体との連携
- ・専攻建築制度等に関する事項
申請：3名 3領域、必要に応じ評議会等開催
専攻建築士登録者数：244名
- ・建築士会継続能力開発(CPD)制度の促進
新CPD参加登録者 1,089名
CPDプログラム評議会及び同部会の開催等
第39回全道大会(旭川大会)
第57回建築士会全国大会(福島大会)
表彰の実施、赤レンガ建築賞への共催等

◎ 事業委員会

- ・「第57回建築技術講習会」開催
全道 2会場：受講者 27名
- ・「小規模建築物を対象とした地盤・基礎解説講習会」
全道 4会場：受講者 147名
- ・支部事業の活性化に向けた支援事業の検討

◎ 情報委員会

- ・会誌「北海道建築士」(197号～208号発行)
- ・ホームページの運用
- ・全道大会分科会「北海道建築士号外」発行

◎ まちづくり委員会

- ・第4回まちづくりフォーラムin札幌開催
- ・「高校生建築デザインコンクール」67校 108名
- ・「高校生建築甲子園」1校(名寄産業高校)
*ベスト8審査委員長特別賞 受賞
- ・景観整備機構組織運営等の設立
- ・連合会会議への参加
- ・全道大会分科会の実施

◎ 青年委員会

- ・「全道青年委員会連絡会議」札幌市開催：参加者 70名

- ・「青年建築士の集い」帯広市開催：参加者 85名
- ・「ブロック協議会活動」4ブロック協議会会議 計12回開催
- ・「青年サミット」旭川市開催：参加者 106名
- ・「社会貢献活動」新さっぽろアークシティ サンピアザ光の広場で開催
- ・「建築士の日のイベント」【建築のお仕事体験】等
参加者(一般市民)857名
- ・全道大会分科会の実施
- ◎ 女性委員会
・各ブロック活動 勉強会・見学会等の開催を支援
- ・全道大会分科会の実施
- ・女性建築士の集い開催 旭川市開催 参加者 52名
- ・「地域における住教育実践推進業務」の実施
①「建築士による家庭科住教育出張講座」8校 実施
②「建築士・教諭向けセミナー」2都市 開催
- ・全国女性建築士連協協議会への参加
- ◎ 被災地応急支援特別委員会
・応急危険度判定ネットワークの構築
全道大会時に連絡網への登録を呼びかけ 50名追加
合計登録者 121名
- ・応急危険度判定訓練への参加 ニセコ町
- ・机上訓練の実施 日高支部 十勝支部

『事務局所管事項』

- ・一級、二級、木造建築士試験の実施

試験種別	合格者(名)	合格率(%)	
		北海道	全 国
二 級	149	18.8	24.3
木 造	0	0	40.0
一 級	77	10.4	12.6

- ・一級、構造・設備設計一級建築士登録等の業務
新規 73件 事項変更等 193件
- ・二級・木造建築士登録等の業務
新規 97件 事項変更等 310件
- ・応急危険度判定士認定関係 12月末有効認定者数 3,130名
応急危険度判定士認定講習会 17会場開催 受講者 577名
- ・建築士定期講習
10会場開催 受講者数 847名
- ・「第47回建築基準法講習会」開催
全道 19ヶ所：受講者 1,261名

- ・ドライクリーニング工場調査の協力
調査件数：1件
- ・「ヘリテージマネージャー育成講習会」開催
修了者 ヘリテージマネージャー 26名
ヘリテージコーディネーター 7名
- ・「地域高齢者居住環境アセスメント等モデル事業」の実施
調査数 1件

- ・「建築物の天井脱落防止講習会」の開催
札幌市開催 受講者数 76名

◆特別会計事業報告

- ・事業募集・採択・連合会活動センターへの申請
応募及び採択 2団体 2事業

*各事業報告の後収支決算報告と、山崎監事による監査報告が行われた。

◆平成26年収支決算報告

貸借対照表

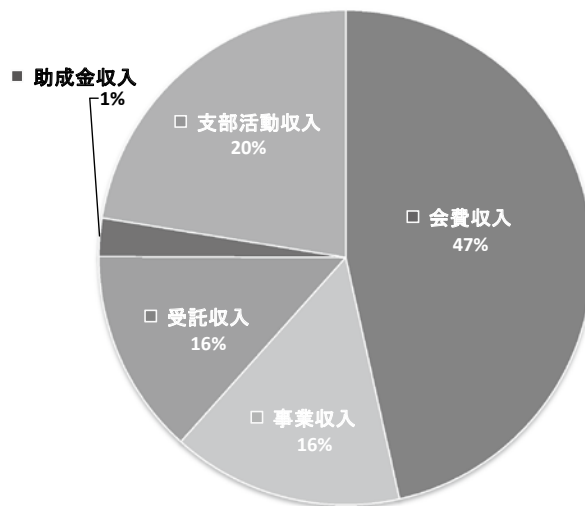
平成26年12月31日現在

一般社団法人 北海道建築士会

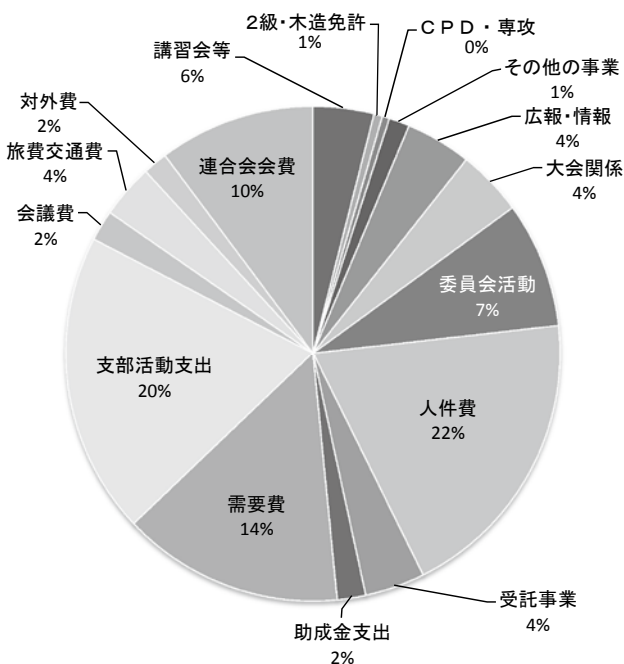
(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	46,020,742	44,358,570	1,662,172
預金	661,600	1,399,000	△ 737,400
未収金	3,023,229	3,903,256	△ 880,027
貯蓄	1,244,658	876,225	368,433
立替	226,936	387,120	△ 160,184
前払費用	211,980	174,281	37,699
流動資産合計	51,389,145	51,098,452	290,693
2. 固定資産			
特定資産			
退職給付引当金	6,726,996	6,725,651	1,345
財政調整積立金	48,978,056	46,631,198	2,346,858
大会積立資産	2,000,000	1,000,000	1,000,000
特定資産合計	57,705,052	54,356,849	3,348,203
固定資産合計	57,705,052	54,356,849	3,348,203
資産合計	109,094,197	105,455,301	3,638,896
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払費用	700,434	1,322,330	△ 621,896
前受金	141,609	78,449	63,160
前受金	3,814,680	4,474,900	△ 660,220
預り金	15,969,600	14,184,600	1,785,000
預り金	1,383,597	1,523,720	△ 140,123
流動負債合計	22,009,920	21,583,999	425,921
2. 固定負債			
長期借入金	0	0	0
退職給付引当金	6,726,996	6,725,651	1,345
長期借入金	0	0	0
固定負債合計	6,726,996	6,725,651	1,345
負債合計	28,736,916	28,309,650	427,266
III 正味財産の部			
一般正味財産	80,357,281	77,145,651	3,211,630
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うち特定資産への充当額)	(50,978,056)	(47,631,198)	3,346,858
正味財産合計	80,357,281	77,145,651	3,211,630
負債及び正味財産合計	109,094,197	105,455,301	3,638,896

◆収入の状況



◆支出の状況



正味財産増減計算書

平成26年1月1日から平成26年12月31日まで

一般社団法人 北海道建築士会

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
会費	68,727,000	69,684,800	△ 957,800
事業	22,363,364	23,695,945	△ 1,332,581
受託	19,840,247	21,919,070	△ 2,078,823
助成金	3,694,807	2,392,000	1,302,807
退職給付引当金戻入	0	247,228	△ 247,228
受取補助金	100,000	100,000	0
雑収益	33,031,426	25,978,963	7,052,463
経常収益計	147,756,844	144,018,006	3,738,838
(2) 経常費用			
事業	113,697,611	107,545,267	6,152,344
講習会等	5,755,473	5,783,329	△ 27,856
2級・木造建築士登録業務費	806,475	853,740	△ 47,265
継続能力開発制度費	551,206	394,998	156,208
専攻建築士制度費	128,522	230,372	△ 101,850
その他事業	1,949,810	1,901,543	48,267
広報・情報	6,212,469	6,483,329	△ 270,860
大会関係	6,229,115	5,073,470	1,155,645
委員会活動	11,904,847	10,374,713	1,530,134
受託事業	24,215,946	28,096,358	△ 3,880,412
助成金	5,676,048	6,686,122	△ 1,010,074
雑費用	2,694,515	1,978,864	715,651
管理	19,362,790	19,420,743	△ 57,953
人件費	28,210,395	20,267,686	7,942,709
旅費交通	30,846,258	36,221,737	△ 5,375,479
対外	3,881,492	3,057,429	824,063
雑	2,900,816	6,442,662	△ 3,541,846
旅費交通	5,083,340	6,286,556	△ 1,203,216
対外	1,563,017	1,844,419	△ 281,402
雑	2,327,050	2,254,321	72,729
雑	313,883	234,100	79,783
連合会	14,776,660	16,102,250	△ 1,325,590
経常費用計	144,543,869	143,767,004	776,865
評価損益等調整前当期経常増減額	3,212,975	251,002	2,961,973
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	3,212,975	251,002	2,961,973
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用			
退職給付引当金繰入	1,345	201,362	△ 200,017
経常外費用計	0	201,362	△ 201,362
当期経常外増減額	△ 1,345	△ 201,362	200,017
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	3,211,630	49,640	3,161,990
一般正味財産期首残高	77,095,651	77,046,011	49,640
一般正味財産期末残高	80,307,281	77,095,651	3,211,630
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	50,000	50,000	0
指定正味財産期末残高	50,000	50,000	0
III 正味財産期末残高	80,357,281	77,145,651	3,211,630

◆報告事項

平成26年12月5日開催の平成26年第5回理事会において承認された平成27年一般及び特別会計事業計画及び収支予算について、事務局より主な内容を報告した。

道本部の主な会議報告 (3月)

◆第1回理事会

(開催日) 3月12日(木)

(議題) ※議題については、すべて承諾済

- 1) 平成26年一般会計事業報告及び収支決算について
- 2) 平成26年特別会計事業報告及び収支決算について
- 3) 平成27年通常総会の開催について
- 4) 第41回全道大会開催地について
- 5) 定款第6条に基づく会員の入会承認について

◆第1回被災地応急支援特別委員会

(開催日) 3月7日(土)

(議題)

- 1) 平成27年事業計画について
- 2) 連絡網の整備について
- 3) 訓練について

◆第1回地域貢献活動センター委員会

(開催日) 3月12日(木)

(議題)

- 1) 活動方針の確認(委員会の開催予定)について
- 2) 活動周知と青年・女性・まちづくり各実行委員会との連携について
- 3) 全道大会との連携について

◆平成27年専攻建築士審査評議会

(開催日) 3月20日(金)

(議題)

- 1) 連合会への認定申請について
- 2) 今後の申請書受付と評議会開催予定について

建築専門団体 (J5)
札幌市意見交換会

3月5日(木)札幌市とJ5北海道の意見交換会を開催しました。

J5北海道の設立経過と今後の進め方、五会の認定資格の概要説明の後、J5北海道の認定資格者名簿やCPDなど五会の認定資格者の共通項目の整理、市職員の五会の研修会への参加などについて意見交換を行い、専攻建築士制度をはじめ五会の認定資格制度について理解とその活用をお願いしました。

参加者・・・

【札幌市】高橋都市局長、京谷建築部長、佐藤設備担当部長、山本建築保全課長、大場建築指導部長、大島建築安全担当部長、高鶴管理課長

【建築専門団体J5】(公社)日本建築家協会 上遠野支部長、(一社)日本建築構造技術者協会 向山支部長、(一社)建築設備技術者協会 里中支部長、(公社)日本建築積算協会 駒木根支部長、(公社)日本建築士会連合会 (北海道建築士会) 高野会長



平成27年度 (一社)北海道建築士会会員作品の募集

応募対象

- ①対象建物 平成23年以降に竣工し、検査済証の交付を受けた建物で、その用途、規模等は問いません。ただし、確認申請を要しない建物は、検査済証は不要です。
- ②対象者 本会の正会員(応募建物の設計、及び施工管理者等、責任ある立場で建築に携わった者に限ります)
- ③応募作品 1人若しくは1グループで1点とします。

所有者等の了解

予め所有者、管理者等の了解を得てください。

応募締切

平成27年5月22日(金) 必着

応募資料

- ①申込書 所定の申込書を本会HPからダウンロードして記入してください。
- ②提出資料 図面(平面図・断面図・配置図等)及び完成写真(内・外装)等の画像データ3点と上記申込書を、CD-ROMに記録して提出してください。(応募作品は返却しません)

作品掲載

応募作品のすべては、本会ホームページに掲載します。また、その中から4点程度を選考し「北海道建築士No217」に掲載します。

※詳細は、北海道建築士会HPをご覧ください。



昨年の作品

総務・企画委員会

多岐に亘る審議内容

委員

吉木 隆 (札幌支部)

総務・企画委員会は、理事会前に開催されます。理事会で審議される議案等の事前チェック機能を果たします。全て会員に関わる内容で、頁の関係で詳細に報告出来ないが、項目をお知らせします。

本年1月開催の第2回委員会では、①H26年度事業報告概要、収支会計状況②H27年度事業計画、予算③資産管理規定制定④H27年度通常総会開催日程⑤第57回全国大会(ふくしま)決算見込み⑥第58回全国大会(石川)各表彰者推薦、大会テーマ⑦全国大会(石川)公開フォーラム⑧小規模向け建築設計契約書・同約款等の発刊⑨後援名義等使用許可⑩監理技術者講習⑪建築士免許証自社発行業務⑫全国大会W/Gを審議しました。報告事項として4項目が報告されています。また、3月開催の第3回委員会では、①一級建築士処分基準(パブリックコメント)②H26年度神城断層地震に対する応急危険度判定業務への支援③連合会職員の表彰④後援名義等使用許可⑤耐震診断・耐震改修設計に係る業務報酬基準案(パブリックコメント)を審議しました。報告事項は①改正建築士法、改正建築基準法周知のための講習会②監理技術者講習③建築相談委員のための講習会です。常に予定時間を超過する、中味の濃い審議となっています。

教育・事業本委員会

監理技術講習の登録講習機関は連合会で

委員

松崎 健児 (札幌支部)

1月8日開催の本委員会において、各建築士会が監理技術者講習を実施するため、登録講習機関となることについて協議を行い、連合会が監理技術者講習に係る登録講習機関となり、各建築士会の協力を得ながらこの講習の実施に取り組むことを決定し、理事会に諮ることとなりました。概要をお知らせします。

発注者から直接工事を請け負い、その内3000万円(建築一式工事の場合4500万円)以上を下請け契約して工事を施工する場合には、建設業法の規定により、監理技術者を工事現場に置かなければならないことになっています。監理技術者講習等を実施するためには、国土交通大臣の登録を受ける必要があります。連合会では、建築施工系技術者の育成の一環として各建築士会に講習機関の登録を要請してきました。意向調査では、この講習の実施について、「実施希望」14士会、「希望しない」24士会などとなっています。また「連合会が登録講習機関となるべき」13士会と回答しています。実施を希望しないと理由の多くが、「地元の関係団体との兼ね合いで実施しない」「既存の講習で集客の見込みが低い」「運営が困難」としていることや連合会が登録機関となることを望んでいることから、本委員会では、連合会が登録講習機関となるべきであることを決定しました。

法制度本委員会

建築士受験実務経験要件等について討議

委員

鈴木 基伸 (札幌支部)

今年度第2回委員会は去る2月16日に連合会会議室で開催されました。議題は、建築士受験実務経験要件についてと定期講習についてであります。

所謂姉歯事件をふまえ平成20年11月以降適用になった1級建築士試験に係る実務経験の要件について、建築教育、建築行政、大学院での研究等に要件の幅を広げるために見直すべきではないか。また、1級の受験者数の減少原因の一つとして、建築施工に携わるゼネコンの現場には1級施工管理技師で全てが間に合ってしまう現状があります。建築法規をしっかりと理解した技術者の不足で思わぬ事故が増えている事例報告がありました。設計・施工・監理の各分野に相応の技術者が存在することで良質な建築行為が成就すること。また、過去に施工現場にいる建築士の存在が建築物の質を担保してきた事実を踏まえると実務経験要件は施工にもっと拡大すべきではないか、等々の意見が出されました。建築士の減少が続けば都市部においても10年後には建築主事が調達できない状況が生まれはしないか危惧されるとの発言もありました。これら諸課題は、各士会において検討していく方向で調整がなされました。定期講習については、受講間隔を3年から5年に変更すること、また将来は、登録講習実施機関になるとともに受講者は資格者全員に拡大し、士会への全員加入を目指しそれが自浄作用に有効に働くのではないかと意見が出され引き続き検討をすることになりました。

まちづくり委員会

第23回全国まちづくり会議

委員

佐藤 芳則 (苫小牧支部)

2月6日(金)・7日(土)の二日間に渡り、東京の笹川記念会館を会場に、全国から59名のまちづくり委員長等が一堂に会し、「地域と連携する建築士のまちづくり活動」をテーマに、青年副委員長と女性委員長も同席した中で「平成26年度全国まちづくり委員長会議(第23回まちづくり会議)」が行われました。

初日は事前の各地まちづくり活動事例アンケート調査の中から選んだ新潟・京都・奈良・宮崎の4名から「まちづくり活動事例報告」を受け、参加者が発表事例毎のグループに分かれ、地域に根差した活動の成果や問題点・課題についてディスカッションを行い、まちづくり活動における地域住民と行政を繋ぐパイプ役としての建築士の姿が浮き出てきました。二日目は「空き家への取り組み」について京都の3名のリレートークを受け、8テーブルに分かれてのワールドカフェ方式で「建築基準法の問題点と課題」「空き家活用事例」「建築士の空き家へのかかわり方」「空き家マネジメント」について議論し、地域事情に寄り添った法規の整備と安全・安心を見据えた情報共有の必要性を確認しました。

最後にブロック懇談会で、アンケート調査の結果浮き出た課題や連合会への要望等について討論しました。各地で同じ様な悩みや異なる問題を抱えていることを知る事ができ、充実した二日間となりました。



ワールドカフェ方式での議論

青年委員会

魅力ある未来社会へ！

副委員長

針ヶ谷拓己（札幌支部）

毎年3月に開催される全国青年委員長会議は、47都道府県の青年委員長が一堂に会し、研修や情報交換、交流などを行う場として実施しております。過去2年の全国青年委員長会議では、『建築士会はどうしたら盛り上げられるか』『建築産業界の課題（若手の人材不足）』をテーマにパネルディスカッションやワークショップによる協議が繰り広げられ、さまざまな意見交換が行われました。いずれもその解決策として『魅力』というキーワードが多く挙がっていたことから、今年は、『魅力ある未来社会へ～行動しなければ何も変わらない～』をテーマに、魅力ある建築士会や建築産業界になるために、我々が何をすべきかを協議するとともに、各委員長がすべきこと＝『行動目標』をいかに実現できるかを考えていきます。なお、こちらの協議内容は北海道の青年委員会へも持ち帰り、再度協議する予定であります。



全国青年委員長会議にて

CPD・専攻建築士制度委員会

専攻建築士登録・J5

委員

鈴木 徹（十勝支部）

専攻建築士の新規登録及び更新登録の受付が2月末日に終了し、新規登録3名（統括設計専攻）、更新登録67名の審査が終了し、登録されることになりました。今年度の更新率は、44.4%で例年並みでしたが、有効期限内に更新されていなかった、12名の方が更新登録されました。これは、今年度からWEB登録システムが導入され、手続きが簡単になったことが要因と思われます。近年、新規登録が減少し、制度普及に向けての活動が不足していると感じるなかで、昨年4月に建築五団体（J5）が、各団体が運営する認定資格制度が、より一層社会で認知され活用されるためには、共同で取り組むことが必要であるとの認識に立ち、記者会見を行い、PR用パンフレットを作成しました。また、公共工事等の入札に活用されています。建築設計に関するデータベースに専攻建築士も含め、各団体の認定資格が登録されるよう、行政等に働きかけを行っています。専攻建築士制度の有効的な活用を実現するためには、会員の理解と積極的な制度参加が必要不可欠と思われまますので、皆様のご協力をお願いいたします。

（J5認定資格）

登録建築家、JSCA建築構造士、JABMEE SENIOR、建築コスト管理士・建築積算士、専攻建築士

女性委員会

「第24回全国女性建築士連絡協議会」報告

委員

東 道尾（札幌支部）

2月27日（金）、28日（土）、東京・建築会館にて開催された。参加者256名。北海道からは7名参加。初日午前中の全国委員長（部会長）会議では、全国の活動状況が披露された。午後からの全体会では、来賓代表として日本女性学習財団理事長の松村泰子氏よりご挨拶をいただき、基調講演では、コミュニティの専門家であるHITOTOWA INC代表の荒 昌史氏より「ネイバーフッドデザイン～東日本大震災から学ぶ“よき避難者”を育成する防災減災～」と題してお話しいただいた。引き続き事業報告2件と活動発表2事例～秋田の「気持ちのいい家を作ろう」と東京の「酒造とまちむすび」の報告があり、休憩をはさんで被災地における現状報告と取り組みを東北3県と関東から報告があった。初日は盛りだくさんのプログラムであった。

翌日は9時より分科会が開かれ、全体会では8分科会の担当委員より、直前までの熱気が伝わってくるような発表があった。本間副委員長より全体総評、永井委員長より本大会のアピール報告と閉会挨拶があり、最後に石川県建築士会のメンバーより全国大会石川大会への参加アピールで締めくくった。

会場では、昨年の全国大会交流セッションで報告があった福島県女性委員会が作成した冊子の販売も行われた。

全国大会準備委員会

開催都市立候補を各支部に要請

昨年12月開催の第5回理事会で、全国大会準備委員会の設置が承認され、1月に同委員会が発足致しました。メンバーは会長、副会長、常務理事、総務委員長です。平成27年度の重要課題は、開催都市の決定にあります。3月12日開催の第2回理事会で報告し、開催都市立候補要請を各支部長宛に発送しています。4月中旬までに各支部から意思表示をしてもらい、5月連休明けに委員会を開催し、開催都市の絞込みを行って行きます。是非多くの支部が立候補することを望んでいます。

全国大会開催までのスケジュールは、平成29年3月総会で開催地・実行組織委員会承認、平成29年3月総会で事業計画・予算承認、平成30年全国大会で次期開催地アピールとなっています。

今後の全国大会予定地は、本年石川県、平成28年大分県、平成29年京都府、平成30年埼玉県、平成31年北海道（第62回）となっています。連合会では建築士会を取り巻く情勢も変化していることから、全国大会の見直しを図るため、「全国大会W/G」設置されます。

より一般市民に開かれた全国大会が求められています。（副会長 吉木 隆）

「組織の活性化とルールづくり」

総務委員会

副委員長 大原 公子 (札幌支部)



総務委員会の所管事項の1つに「組織運営の適正化に係る対応」がある。

主に、組織運営に関する様々な運用・規則等の検討である。

平成26年の委員会で検討された事項は、旅費支給規則、事務局資機材の使用規則、CPD及び専攻建築士規則、会費未納者の取扱いなどである。

これら事項は、事務局から委員会に議題として示されるが、新法人移行に伴って見直さなければならぬ規程等はまだまだあるようで、次から次へと議題が上がってくる。

私自身、総務委員会に在籍してすでに2期目も後半になるが、本会にいったいどのような規則がどれだけの数あるのかも把握していない・・・と反省しつつ、その時々が必要に応じて対応している現状である。

中には、非常に複雑でなかなか理解することが難しい案件もある。(例えば、平成25年の消費税の負担割合の算定など)

私の場合、何の話をしているのかさっぱり分からない時は、じっと沈黙を通してやり過ぎてしまいたくなるが、議論を深めていくうちに、複雑なものは整理され、必ず一定の方向性が見えてくる。

一方で、組織の方向性を含め議論していく必要性があるのではないかとといった事案や一歩踏み込んで前向きに取り組んではどうかといった事案も出てくる。

例えば、ブロック会であるが、定款では「支部間の連携を図るため、置くことができる。」となっており、実際、毎年開催されてきているが、会の設置に関する具体的な規定が整備されていない。

今後、組織の活性化を図る中でブロック会の果たす役割について明確にしていく必要があるのではないかと考える。

また、北海道文化の振興に寄与した個人、もしくは団体を新聞紙上で広く紹介し、表彰する「新聞社主催の文化賞」といった事業については、推薦基準等を整備して、士会の活動のPRや会員のモチベーションを高めるための手法として積極的に活用していくのも必要ではないだろうか。

規則等の検討は、どちらかといえば地味な作業であるが、委員会として、これからも、問題意識を持ちながら前向きに組織の活性化に繋がるルールづくりに当たっていきたいと考えている。

地域貢献活動に助成します

地域貢献活動センター委員会

委員長 久島 正嗣 (札幌支部)



昨年は地域貢献活動として4件の助成申請があり、内2件の活動に対して助成をさせていただきました。

活動センターでは、地域社会の発展に寄与する目的で建築士会会員が参画する地域貢献活動を支援し、その活動を補助しています。

対象事業は、建築士が参画し営利を目的としない地域貢献活動です。

活動グループは、北海道建築士会の会員が2名以上参画していて、その会員が継続して3年以上会員となっていることが条件となっています。

助成限度額は単年度事業として1件20万です。

継続事業での助成申請は3年を限度とします。

助成の申請は地域づくりやまちづくりの活動グループの代表者が行います。代表者は必ずしも建築士でなくともかまいません。活動が完了しましたら所定の活動報告書を提出していただきます。

今年の募集期間は、平成27年1月5日から9月30日までとなっております。現在受付中です。

申し込み・お問い合わせは、北海道建築士会内地域貢献活動センター事務局まで。

申請書や記入方法につきましては、本会ホームページまたはリーフレットをご参照ください。

皆様にごさわしい「地域貢献活動」の応募をお待ちしています。

リーフレット

千歳支部

支部青年部長に就任して

青年部長
山川 力



2015年スタートして早3か月が過ぎました。

年が明けてからもう3か月が経過したという気持ちとまだこれからという気持ちが入り混じる中、2014年は、建築士として気付きや刺激を大きく感じることができました。建築士会に入会して8年が過ぎ、当時の青年部長から「次、青年部長やってみない？」と声が

かかったのが一昨年の末の話！！自信があったわけでもないのに何故か「じゃやろうかな～」といった具合に引き受けていました。

初めての支部の役員会では、支部の運営に対する話し合いなど今までは触れることすら無かった議題に、分からないながらも参加し、支部の運営内容が少しずつ理解出来るようになり、気持ちも新たに意欲が湧き出るのを感じることが出来ました。建築士会の活動に対しての意識が変わっていったのを今でも覚えています。

青年部長という立場で、会議や

集いなど様々なファンクションに参加して、全道各地で活躍する沢山の仲間と出会い親睦を深め、沢山の「気付き」や「刺激」を身をもって感じる事ができる感覚、参加して得ることが出来る感動、沢山のことを感じさせていただきました。(現在進行形・・・)

建築士会をまだ知らない建築士の仲間や周りの方々に“建築士会”とはなんぞやと、どのように伝えていくべきか、やりたいことがより一層大きくなった一年となりました。

士別支部

久々の新事業！「第1回クリーン&ウォーク」を開催

支部長
土岐 浩二



高齢化と会員減少、多くの支部共通の悩みかと思いますが、田舎の当支部においては特にその傾向が強く、15年間で会員数が3割減少という厳しい状況です。

原因としては、支部事業のマンネリ化や活動のPR不足があり、若い会員の入会促進のため、地域貢献に繋がる新事業への取組みが必要ではないかと考えました。そこで、ウォーキング+ゴミ拾いで

地域貢献と健康づくりを目的に、「第1回クリーン&ウォーク」を企画しました。しかし、それだけでは盛り上がり欠けるので、かつては道北随一の桜の名所と言われた九十九(つくも)神社にある「二千本桜」のもとで花見を楽しもうと、焼き肉とビールも用意し5月18日に開催しました。

当日は、あいにくの小雨模様で参加者は16名と少なめでしたが、九十九山組と道央道士別剣淵IC組の2班に分かれ、ゴール地点に向け市内や国道のゴミを拾い7袋のごみが集まりました。終了時には本降りとなった雨でしたが、士

別神社宮司様のご厚意によりテントの下で花見ができ、親睦を旨とする当支部の第一の目的を果たすことができました。今年は、一週間早めて桜が満開時期の開催にしたいと思います。



ゴールに向かいゴミ拾いとお花見の様子～クリーン&ウォークの後はお花見で乾杯

釧路支部

活動の抱負

副支部長・事務局長
鈴木 要



各支部の皆様、日頃より建築士会での活動ご苦労様です。今年は釧路支部の役員改選の年にあたり、前事務局長(副支部長兼任)の白澤さんが退任され、今年度より、私、鈴木要が事務局長(副支部長兼任)の席に任命されました。白澤さんの抜けた席に、常議員より眞鍋雅律氏が新しく副支部長に任命されました。大宮敦男支部長、

並びに他2名の副支部長は留任とすることとなりました。常議員も数名変更がありまして、若干の若返りもあり、今後の活動に期待を込めて、新体制での釧路支部の平成27年・28年スタートしました。

事務局も一昨年末に、当会女性委員長金子ゆかりさんの会社(事務所)内に移し、社員さんに業務の一部を兼務していただいております。やっと釧路支部事務局が落ち着いてくれました。今年度の支部活動としましては、以前から手付かずになっていた支部ホームページの本格的運用を行うこと

と、各委員会の開催、継続事業であります「折り紙建築」の積極的な事業参加(一般市民への啓蒙)と建築士の日の事業(ビールパーティ)の充実、活動の中心となっている青年委員会(青年会員)の減少は、急務の問題です。増強を目指して何らかの行動を起こさなければならぬと考えています。

最後になりましたが、私も建築士会釧路支部の会員となって30年が経ちました。初心に戻り、事務局局長1年生として頑張る所存ですので宜しくお願い致します。

CPD認定プログラム(3月認定)

- ◆平成27年度北海道ヘリテージ・マネージメント
専門職育成講座カリキュラム
- 《日程及び会場》 5月30日(土) 14:00~18:30
かでの2.7(札幌市)
他全13回開催
- 《単位数》 3~6単位
※カリキュラムにより単位を認定

道士会の動き

建築士試験案内

■二級・木造

試験受付

- 4月9日(木)~13日(月) 札幌
- 4月10日(金)・13日(月)
- 函館・旭川・北見・帯広・釧路・室蘭

学科試験(二級)

- 7月5日(日)
- 札幌・函館・旭川・北見・帯広・釧路・室蘭

学科合格発表(二級予定)

8月25日(火)

学科試験(木造)

- 7月26日(日) 札幌・北見

学科合格発表(木造予定)

9月8日(火)

製図試験(二級)

- 9月13日(日) 札幌・函館・旭川・北見・釧路

木造製図試験(木造)

- 10月11日(日) 札幌

最終合格発表(予定)

12月3日(木)

■一級

試験受付

- 5月7日(木)~11日(月) 札幌
- 5月8日(金)・11日(月)
- 函館・旭川・北見・帯広・釧路・室蘭

学科試験

- 7月26日(日) 札幌・北見

学科合格発表(予定)

9月8日(火)

製図試験

- 10月11日(日) 札幌

最終合格発表(予定)

12月17日(木)

編集後記

雪解けも進み、陽射しに春を感じる4月です。

先月27日に定期総会を無事終えました。また新年度のスタートです。J5の活動や各委員会の活発な報告、及び今後の動きなど、興味深々です。

平成27年度の建築士会会員の作品を募集します。自慢の作品をどしどし応募してください。お待ちしております。

情報委員 柳山美保子

図書案内

平成27年1月~2月に開催の第48回建築基準法講習会で使用しましたテキストを販売いたします。

販売予定数に達した時点で終了となりますので、お早めにお求めください。



実務に役立つ 建築法規解説2014

編集=全道建築行政連絡会議

第48回

建築基準法講習会テキスト

◎A5判 ◎定価:3,500円

「四会連合協定 建築設計・監理等業務委託契約書」(改定版)

「四会連合協定 建築設計・監理業務委託契約書類」(小規模向け)

販売のご案内

建築士法の一部を改正する法律が6月25日に施行されるのをうけ、改定版が販売になりました。



「四会連合協定 建築設計・監理等業務委託契約書」(改定版)

◎A4版

◎会員価格972円(税込) 定価1,296円(税込)



「四会連合協定 建築設計・監理業務委託契約書類」(小規模向け)

◎A4版

◎会員価格864円(税込) 定価1,080円(税込)

【図書問合せ先】

(一社)北海道建築士会 011-251-6076

情報委員会委員長/神田 光英
副委員長/斎藤 勝哉・早川 陽子・森 勝利
委員/高松 徹・熊谷 智・柳山美保子
鈴木 雅人

北海道建築士 No.212号

印刷 平成27年3月/発行 平成27年4月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会
〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地
大五ビル
電話 (011) 251-6076番
URL <http://www.h-ab.com/>

印刷 株式会社 正文舎
〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目
電話 (011) 811-7151番